

with YOU

ウィズ・ユー

平成27年2月

Vol.27
発行/熊本市教育委員会

子どもの体力向上にチャレンジ! ～わくわくチャレンジ長なわとびフェスタ～

熊本市では、子どもの体力向上を目的として、「熊本市わくわくチャレンジ長なわとびフェスタ」を開催しています。今年度が3回目で、毎年11月から2月にかけて、全ての小学校が参加しています。



休み時間に練習する様子

わくわくチャレンジ長なわとびフェスタの概要

わくわくチャレンジ長なわとびフェスタは、熊本市の全ての小学校を対象に、1学級を1チームとして、「8の字とび」にチャレンジするものです。学年別に、跳んだ回数を競い合う「ランキングチャレンジの部」と、学級が設定した目標回数に挑戦する「目標達成チャレンジの部」があり、今年度は93.5%の学級が参加しています。

このフェスタに参加して、「朝や昼休みにクラスで一生懸命取り組み、新記録が出て楽しかった」という子どもの声や、「目標を達成しようと学級が一致団結して取り組むことができた」という教師の声があがるなど、学級の活性化にもつながっています。



長なわとび集会での様子

<問い合わせ先> 健康教育課 TEL 328-2728

check!

教育委員会の広報誌は熊本市のホームページでも見るができます

熊本市ホームページ (<http://www.city.kumamoto.jp/>) >分類から探す>学び・観光・スポーツ>教育・学校・青少年・若者>教育・学校の情報

With You(ウィズ・ユー)についてのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

編集・発行 〒860-8601 熊本市中央区手取本町1-1 熊本市教育委員会教育政策課

TEL 096-328-2704 FAX 096-359-6951 e-mail:kyouikuseisaku@city.kumamoto.lg.jp

●子どもの体力の向上に取り組んでいます

体力は、人の活動の源であり、健康の維持のほか、意欲や気力といった精神面の充実にも大きくかかわっており、生きていくために重要なものです。

熊本市の子どもの体力は、近年、横ばい傾向にあるものの、全国と比べると依然として低い状況にあります。

そこで、学校では、子どもの体力を高めるため、体育の授業方法を工夫するとともに、休み時間を活用した運動遊びを推進しています。また、家庭でも、親子で一緒に運動する時間をつくるなど、運動の習慣化を進めることで、子どもが運動を好きになり、子どもの体力も向上していきます。

熊本市における小中学生の体力の特徴

	小学生	中学生
優れている体力	敏捷性（反復横跳び）、 持久力（20mシャトルラン）	敏捷性（反復横跳び）、 持久力（持久走、20mシャトルラン）
課題がある体力	筋力（握力）、柔軟性（長座体前屈）、 投球能力（ボール投げ）	柔軟性（長座体前屈）、スピード（50m走）、 投球能力（ボール投げ）

●体力向上優秀校表彰～初めて実施しました！～

熊本市では、子どもの体力を向上させるために、積極的に取り組み、成果を収めた学校を表彰する「熊本市体力向上優秀校表彰」を、今年度、初めて実施しました。

表彰された学校においては、独自にスポーツチャレンジ大会を開催したり、各家庭でストレッチ体操に取り組んだりするなど、地域や家庭と連携しながら体力向上に取り組まれました。



河内中の体幹トレーニングの様子

平成26年度 熊本市体力向上優秀校表彰の結果

	小学校	中学校
最優秀校	田原小学校 （体育委員会が主催する「田原ンピック」や家庭と連携した「おふるあがりストレッチ」の実施）	河内中学校 （小学校と連携した走力を高める運動の実施や家庭に対する体力づくり推進計画の配布・啓発）
優秀校	中緑小学校、山本小学校 菱形小学校、芳野小学校	湖東中学校、出水中学校

●子どもの体づくり推進事業～2つの部会で検討～

本年度から、健やかな体の育成を目指し、子どもの体力向上の取り組みを充実させるため、「熊本市子どもの体づくり推進事業」として、2つの部会を設置しました。

体力向上部会では、子どもの体力を向上させる具体策を検討するため、小学校3校（小島小学校、託麻南小学校及び隈庄小学校）と中学校2校（江原中学校及び錦ヶ丘中学校）を体力向上推進実証校として指定し、3年間かけて、実践プログラムを策定していきます。

運動部活動のあり方検討部会では、今後の運動部活動の方向性等、熊本市における小学生のより良いスポーツ環境のあり方について検討しています。

<問い合わせ先> 健康教育課 TEL 328-2728

●家庭教育とは？～親の笑顔が子どもを笑顔にします～

家庭教育とは、保護者が子どもに対して行う教育のことで、全ての教育の出発点です。基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていくうえで、重要な役割を果たしています。

保護者の不安や悩みを少しでも解消し、子どもたちを安心させ、笑顔でいられるよう、「親の学び」を応援します。少し立ち止まり、日頃の子育てを一緒に振り返ってみませんか。



●家庭教育セミナーで学んでみませんか？

学校やPTAが主催する研修会や勉強会に、講師や進行役（ファシリテーター）を派遣します。新学期の初顔合わせなどに活用してみませんか。

講演会型

家庭でのしつけやルール決め、反抗期や思春期における接し方等、家庭教育に関する豊かな経験やノウハウをもつ講師を派遣します。

ワークショップ型

くまもと「親の学び」プログラム（※）を活用して、コミュニケーションを取りながら進めていきます。初めて会う人同士でも楽しく参加できるよう専門の進行役（ファシリテーター）を派遣します。

※くまもと「親の学び」プログラムとは、参加者同士で話し合ったりする参加体験型の学習スタイルで、子どもの発達段階に応じて、家庭で大切にすべきことなどを学びます。話し合いの中で、家庭で大切にしたいことに気づき、子育てに前向きな気持ちを持てるようになります。



平成26年度は、46件、約3,600名の方に参加いただいています。申込みが多いテーマは次のとおりですが、ご希望のテーマがあれば、ご相談ください。

- 上手な ほめ方・しかり方
- ゲームやネットとのつきあい方
- いのちの大切さ ・食育 など

現在、平成27年度の申込みを受け付けていますので、ご利用ください！

対象者 10名以上の団体等（PTA、事業者、おやじの会、町内会、学習グループ等）

利用料 無料（会場は申込団体等でご準備ください。）

申込方法 申込書に必要事項を記入のうえ、郵送、FAX 又は Eメールにて申込み

申込先 **（郵送）** 〒860-8601 熊本市中央区手取本町1-1 熊本市生涯学習推進課 宛
（FAX） 351-7746 **（電子メール）** shogaigakushu@city.kumamoto.lg.jp

申込期限 開催予定日の1カ月前まで

申込書 熊本市のホームページからダウンロードしてください。

（熊本市ホームページ>分類から探す>学び・観光・スポーツ>講座・講演会・学習>講座・相談会>子育てが楽しくなる「家庭教育セミナー」）

●教職員教育功労表彰を行いました

熊本市では、教職員全体の職務意欲の向上を図るとともに、学校教育の活性化につなげていくことを目的として、学校教育において積極的な取り組みを行い、顕著な成果をあげた教職員を表彰しています。

平成17年度から熊本県教育委員会が実施してきましたが、熊本市の政令指定都市移行に伴い、平成24年度から熊本市教育委員会が実施しています。

これまで、平成24年度は9名、平成25年度は10名の教職員が表彰を受けています。

～平成26年度の被表彰者を紹介します～

平成26年度は11月に表彰式を行い、各分野で功績があった10名の教職員が表彰されました。

表彰された教職員は、「生きる力」を育む学校教育の推進役として、特に顕著な取り組みがあったものです。本表彰を機会に、これまで培われた豊かな経験と指導力にさらに磨きをかけるとともに、他の教職員の模範となり、後進の育成にも貢献していくことを期待しています。



学校名	職名	氏名	功績分野
城東小学校	教諭	富崎 聖子	学習指導（音楽）
画図小学校	教諭	井上 伸円	学習指導（国語）
城山小学校	主幹教諭	下田 恭裕	生徒指導
白山小学校	栄養教諭	福島 美香	学校給食
託麻東小学校	教諭	上元 雅晴	学習指導（理科）
吉松小学校	教諭	瀬田 浩明	学習指導（算数）
花陵中学校	養護教諭	前田 弥生	学校保健
出水南中学校	教諭	桃崎 佐知子	学習指導（道徳教育）
下益城城南中学校	事務主任	村上 満子	学校事務
五霊中学校	教諭	村上 利美	特別支援教育

<問い合わせ先>教職員課 TEL 328-2720

●子どもと情報モラルについて考えましょう

スマートフォンや携帯電話、携帯型ゲーム機等が子どもたちにも広く普及し、全国的に、いじめなどのトラブルや様々な事件・事故に巻き込まれるケースが多発しています。

そのような現状を受け、熊本市では、スマートフォン等の使用にあたり、危険性等について説明したリーフレット「家庭で考える情報モラル～子どもたちをネットトラブルから守るために～」を作成しました。

今後、各小中学校から各家庭に配布しますので、スマートフォン等の使い方等、情報モラルについて子どもたちと話し合い、適切な利用に努めましょう。



<問い合わせ先>熊本市教育センター TEL 359-3200 総合支援課 TEL 328-2743

熊本市立図書館からのお知らせ

●熊本市立図書館の工事が終了します

熊本市立図書館は、空調工事等に伴い、平成26年9月から休館していましたが、平成27年3月1日（日）から全ての業務を再開します。皆様のご来館をお待ちしています。

※準備のため、2月28日（土）は、熊本市立図書館正面玄関の臨時カウンターをお休みします。

●子ども映画会を開催します

今回は、「フィチンさん」と「まんが日本昔ばなし」を上映します。

日時 3月14日（土）13：30～15：00

場所 熊本市立図書館2階ホール

費用 無料 申込 不要



●図書館講座「間うちに魅力再発見！大甲橋～水前寺周辺の民話と伝説」を開催します

私たちが住むまちの魅力を一緒に発見し、楽しみましょう。

講師 肥後の歴史物語と民話の会「語り座」代表 寿咲 亜似さん

日時 3月28日（土）13：30～15：30

場所 熊本市立図書館2階ホール

費用 無料 申込 不要

●ワークショップ「図書館に森をつくろう！～子どもたちのための素敵な空間づくりを目指して～」を開催します

一人一本の木を作成し、図書館に森をつくって館内展示を行います。段ボールと絵の具を使いますので、汚れても良い服装でご参加ください。

日時 3月7日（土）10：00～12：00

※ 受付開始 9：30

場所 熊本市立図書館2階 集会室

費用 無料

対象者 中学生又は高校生（12歳から18歳まで）

講師 コーダ・ヨーコさん

定員 20名（先着順）

申込期間 2月3日（火）～27日（金）

申込方法

電話（TEL334-1500）

又はインターネット

（<http://higomaru-call.jp/>）でひこまる

コールへ申込み



<問い合わせ先> 熊本市立図書館 TEL 363-4522

熊本博物館からのお知らせ

●ロビー展「熊本城跡と熊本博物館展」を開催しています

熊本博物館がある三の丸地区を中心に、近世から近代にかけての遺跡の歴史や、建築家・黒川紀章氏の設計により、昭和53年に建てられた熊本博物館の建築に関わる情報を紹介しています。

期間 3月末まで 時間 9：00～17：00

場所 熊本博物館本館ロビー 費用 無料

●子ども科学・ものづくり教室「箱の中に虹を作ろう！」を開催します

大空ではなく、箱の中に自分の好きな形の虹を作ります。

日時 3月15日（日）13：30～15：00

場所 熊本博物館 費用 無料

対象者 小中学生 定員 25名

申込方法 往復はがきに必要事項（教室名「箱の中に虹を作ろう！」、住所、氏名、学年及び電話番号）

を記入し、3月7日（必着）

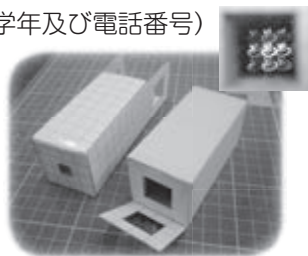
までに熊本博物館に郵送

郵送先

〒860-0007

熊本中央区古京町3-2

熊本博物館 宛



●企画展「しってるカイ？くまもとの軟体動物化石展」を開催します

熊本で発見された化石を中心に、過去に生きていた軟体動物の姿に迫ります。

期間 2月28日（土）～4月5日（日）

時間 9：00～17：00

場所 熊本博物館特別展示室

費用 無料



●プラネタリウム春番組「ユニバース～神秘と驚異の宇宙～」を上映します

宇宙の始まりはどんな様子で、宇宙の果てにはどんな世界があるのでしょうか。古代の人々が考えた天空の世界や、最新の研究成果に基づく「星の一生や宇宙の歴史」などを、迫力の映像で紹介します。

期間 3月7日（土）～4月中旬（予定）

上映時間 約50分（当日の夜の星空解説を含む）

観覧料 200円（中学生以下100円）

※3月2日（月・休館日）から6日（金）までは、機器点検のため、上映をお休みします。

●熊本博物館の休館とプラネタリウムの休止のお知らせ

熊本博物館は、リニューアル工事のため、平成27年7月1日（水）から全館を休館し、プラネタリウムの上映を休止します。ご不便をおかけしますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

<問い合わせ先> 熊本博物館 TEL 324-3500

『特色ある学校の取り組み』の紹介

熊本市立小中学校では、日頃から特色ある学校づくりに向けて、様々な教育活動に取り組んでいます。このコーナーでは、毎回、各テーマに沿って、各学校が実施している「特色ある取り組み」を紹介していきます。各校の先生と子どもたちの生き生きとした姿をどうぞ見守り、ご支援をよろしくお願ひします。

『教育の情報化』～ICT(情報通信技術)の活用による表現力の育成～【託麻北小学校(東区)】

Q:問題

託麻北小学校で、ICTを活用しているのはどの授業でしょうか？

- ① 国語と社会 ② 算数と理科 ③ 総合的な学習の時間 ④ 全ての授業

託麻北小学校では、この数年、授業で発言したり、堂々と意見を述べたりする子どもが少なくなっているとして、児童の豊かな表現力の育成をテーマに検討を重ね、平成24年度から、ICTを効果的に活用した授業の実践を進めています。

① ICTを活用した授業～グループでの意見交換や成果発表～

分かりやすく、わくわくする授業になるよう、全ての授業でデジタルテレビやプロジェクターなどのICTを活用し、子どもたちの興味・関心を高め、思考力や判断力の向上を図っています。また、子どもたちのグループ学習では、タブレット端末を使って情報の共有化を図り、プレゼンテーションソフトで意見交換したことをまとめて、わかりやすく発表するなど、表現力の向上を目指しています。

② ICTの活用に向けた環境整備～ICT機器の整備や教職員の連携～

ICTを活用した授業を行うにあたり、通常の学級でICT機器を使用できるよう、熊本市教育委員会の研究指定校としてタブレット端末を導入し、ICT活用の年間計画を作成するとともに、教職員が互いに成果や課題を共有するなど、全校を挙げた推進体制を整備しています。

以上のような取り組みを進めた結果、授業に集中する子どもたちが増え、他校の教職員が参観する中でも堂々と発表するなど、その成果が現れています。

託麻北小学校では、今後もICTを効果的に活用した授業を研究し、子どもたちの豊かな表現力の育成に取り組んでいくとともに、その成果をその他の学校にも伝えていきたいと考えています。(答えは、4番の「全ての授業」です。)



タブレット端末を使った意見交換の様子



熊本市教育委員会

教育長 岡 昭二

社会とつながる「一揆一揆」

教育長に就任し、もうすぐ1年が経とうとしています。この間、教育長として、ふれあい給食や子どもフォーラム、研究発表会等、様々な教育活動に参加しました。いずれの学校でも子どもたちの表情は明るく、生き生きとしており、学校教育を中心として、「徳・知・体」の調和のとれた人づくりに取り組むという就任当初の思いを新たにしたいところです。

中でも印象深かったのは、本市の子どもたちがとてもよくあいさつをするということです。

教育委員会やPTAでは、9月、11月、1月の年に3回、あいさつ運動を行っておりますが、家庭での教育に加え、子どもたちには日常的に、登下校の見守りをしていただいている地域の方々やあいさつを交わす機会があり、それらの結果、習慣として身につけているのではないかと思います。

元々、禅宗で使用されていた「一揆一揆(いちあいいつさつ)」という言葉が、「挨拶(あいさつ)」になったと言われています。「一揆一揆」には、心を開いて接するという意味があり、修行において、言葉のやりとりを通して相手の近況や思いを知るものであったそうです。

携帯電話やスマートフォンが子どもたちに普及し、メールやSNS等を介して社会とつながることが多い現代においても、あいさつは大切なコミュニケーションのツールです。あいさつの習慣を育ててこられた家庭や地域の方々に感謝するとともに、子どもたちにはその習慣を忘れず、自分と社会をつなぐツールとして、いつまでも大切にしたいと思っています。

教育委員のひろば

◆このコーナーでは、毎回、教育委員の教育に関する思いや抱負を紹介します。